

オンライン講演会

建築物に木材を利用する意義

— 木材利用による温暖化防止効果と室内環境・人に対する影響 —

地球環境問題への意識の高まりとともに、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律（2010年）、脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律（2021年）などを背景として、建築物の構造や内装への木材利用が推進され、再生可能材料である木材の役割はますます大きくなると考えられる。

「木材を使うと地球環境や人の健康に良い」というイメージがあるが、では実際に「どのように」「どのくらい」良いのだろうか？ここでは木材利用による吸収源機能、排出削減機能について概観し、木材利用による炭素貯蔵効果等の推計をモデルにより行った研究例を紹介する。さらに内装に使用された木材が室内環境や人にどのような影響を与え得るかを明らかにしたデータの例を紹介する。

1. 日時：令和4年12月1日(木) 15:00~17:00

2. 場所：オンライン講演会（東京都千代田区永田町ビル・4階会議室から配信）

ZOOM 利用

3. 主催：森林部門技術士会（共催：（公社）日本技術士会森林部会）

（1）演題：建築物に木材を利用する意義

— 木材利用による温暖化防止効果と室内環境・人に対する影響 —

（2）講師：東京大学大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 教授 恒次 祐子

4. 参加定員：オンライン定員 100名（要申し込み 先着順。11月21日（月）〆切）

参加申込書は森林部門技術士会 <http://forest-pro.jp/> から

参加に必要なID、パスコード及び参加票（JAFEE・CPD用）は、開催1週間前の11月24日（木）頃にメール送付します。

5. 参加費：・森林部門技術士会の会員 500円（徴収済）、（公社）日本技術士会 の会員 500円

・非会員 2,000円

非会員については申し込み後、振り込みが確認されましたらID、パスコード及び参加票（JAFEE・CPD用）をメール送付します。

非会員の参加費振込先：みずほ銀行虎の門支店 普通預金口座番号 2547633 森林部門技術士会

6. CPD：森林分野 JAFEE・CPD 及び技術士会 CPD は 2.0CPD 時間です。

7. 講師 恒次 祐子（つねつぐ ゆうこ）先生 <プロフィール>

東京大学大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 教授

履歴：

1999年 東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程生物材料科学専攻修了
同年4月 農林水産省森林総合研究所 入所
2008年 (独)森林総合研究所構造利用研究領域 主任研究員
2017年9月 東京大学大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻
木材物理学研究室 准教授
2021年10月より現職

専門：林産学，居住環境学

- ・木材利用による地球環境保全効果の定量的な評価
- ・木材や木材を用いた空間が人に与える影響

についての研究を行っています。

受賞歴：

2000年 日本生理人類学会発表奨励賞
2009年 千葉大学オープン・リサーチ 2009 学長賞
2011年 日本木材学会論文賞
2015年 キッズデザイン賞 子どもの未来デザイン 感性・創造性部門 受賞
同 ウッドデザイン賞 奨励賞（審査委員長賞） 受賞
2018年 日本生理人類学会優秀研究賞
2022年 ウッドデザイン賞 受賞

役職等

日本木材学会理事，日本生理人類学会理事，「ウッドチェンジネットワーク事業 内装木質化ワーキンググループ主査」，「内装木質化等の効果実証事業」委員，「木の良さデータ整理検討委員会」委員など

以上